

令和6年度(2024年度) 年間授業計画表

学年	3	コース	総合進学	選択形態	必修	科目	数学演習	単位	4
学習目標	これまでに学習した数学I・Aの復習をしつつ、基本的な問題に取り組める力を養うことで、論理的思考を育てていく。専門学校や大学などの過去の入試問題にも取り組み、進路実現に向けた学力を身につける。								
使用教科書		副教材	パラレルノート数学I・A				予定時間数	105	
単元と内容									
1学期	【数学I】 ・数と式  ・2次関数		・因数分解や対称式、平方根などの計算ができる。  ・放物線の平行・対称移動、平方完成などができ、関数の最大値・最小値を求めることができる。 ・連立不等式を解くことができる。						
	・図形と計量  ・集合と論理		・30度や45度だけでなく180度までの三角比を答えることができ、三角比を含む関数の最大値・最小値を求めることができる。  ・要素の個数を求めることができる。 必要条件・十分条件の判別をすることができる。						
2学期	・データの分析		・与えられたデータから平均値、中央値、分散、標準偏差などを求めることができる。						
	【数学A】 ・場合の数		・順列の総数や組み合わせの総数など公式を活用し求めることができる。 並んでいるものの中に入れる順列の計算ができる。						
	・確率  ・図形の性質  ・問題演習		・場合の数の考え方をもとに、簡単な確率を求めることができる。  ・円周角の定理、接弦定理など中学の学習内容を復習し、円に内接する図形問題などに活用することができる。  ・プリント等を用いて知識の定着を図る。						
評価									
評価の観点		評価の趣旨				評価対象			
						1学期末	2学期末	学年末	
①	知識・技能	これまでの学習内容全般における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基本的な知識を身につけている。 ・定期考査      ・小テスト				○	○	○	
②	思考力・判断力・表現力	これまでの学習内容全般において数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 ・定期考査      ・提出ノートの内容				○	○	○	
③	主体的に学びに向かう態度	これまでの学習内容全般に関心を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。 ・授業への取り組み ・課題、提出物の状況(ノート、プリント、レポート等)				○	○	○	
		①		②		③			

評価方法	定期考査 100%	定期考査 75% 各種発表・まとめ 25%	各種提出 100%
------	-----------	--------------------------	-----------